



# 六中だより



令和6年度第8号  
(令和6年12月24日発行)  
文京区立第六中学校  
校長 田中 繁広

六中ホームページ  
QRコード



【教育目標】○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

## 見えない学力を伸ばすために ~校長より~

六中は登校後に朝読書が行われており、シーンとした静謐な時間から朝が始まります。こうした読書により、言語能力はもちろん、書物との対話、そして自身との対話にもつながり、論理的・抽象的・概念的思考を育むことにつながります。私もかつては読書の鬼とまではいえないまでも、いろいろな書籍をかじった口でした。しかし最近は忙しさにかまけて読書が不足しており、これではいかんと反省して家にある本棚を探っていたところ、かつて読んだ1冊の本を見つけました。



その本は、岸本裕史さんという方が書かれた「見える学力、見えない学力」という本でした。岸本さんは神戸市小学校教諭として、基礎学力のなりたち・向上と成長する力・意欲、家庭での生活習慣・遊び・ことばづかいなどの結びつきを教育実践・研究の両面から明らかにした方で、有名な「百ます計算」の生みの親でもあります。その「見える学力、見えない学力」の一節に、このようなものがありました。

「冰山を思い浮かべて下さい。冰山というものは、大部分が海面下に沈んでいて、八分の一だけが海面上に姿を見せています。子どもの学力も、それと似ているのです。テストや通知簿で示される成績は、いわば見える学力なのです。その見える学力の土台には、見えない学力というものがあるのです。見える学力をたしかに伸ばすには、それを支えている見えない学力を、うんとゆたかに太らせなければならないのです。貧弱な土壌では、果樹の実も、ちっぽけなままでしかありません。」

なるほどなと思いました。見えない学力とはいろいろなものが考えられますが、学習指導要領などに記載されているものでいえば以下のようなものがあげられるでしょう。

言語能力 情報活用能力 問題発見・解決能力 想像力 多様性を尊重する態度 協働する力  
リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性 コミュニケーション力…

これらの力は机に向っての勉強だけでは身に付けられるものではありません。先ほどから話題の読書や友人との対話、さまざまな実技、はたまた奉仕活動や職場体験などの具体的な体験、行事などから得られる経験といった、多様な取組からこそ得られるものでしょう。日々の一つ一つの取組自体が貴重な学びであり、それには無駄がないのだと改めて再認識しました。そうした多様な取組をアップデートして生徒たちに提供していくことが学校の責務であり、そしてこうした見えない学力、そして見える学力も含めた総合的な力がまさに「生きる力」となって、生徒たちが将来力強く生きていく礎となるのだと考えます。

岸本さんはこの本の中で、「テレビ・ファミコン・まんが」を三種の神器ならぬ三種の<sup>ほうき</sup>呆器と称しています。今でいえば、「テレビ・ゲーム機・スマホ」となるのでしょうか。もちろんこれらは活用方法によっては大いに効果も期待されるものであり、“呆器”と断じてしまうのは言い過ぎかもしれません。しかし、柔軟性もあり伸び盛りの六中生には、汗をかいて多様な学びに没頭する時間のほうが圧倒的に大切です。年が明けた時に、六中生一人一人が若いからこそその志を立ててもらいたいと願います。

# 第4回学校運営協議会が行われました



12月19日(木)に、第4回の学校運営協議会が行われました。今回の協議会前には、各学年の多様な取組を参観していただきました。1年生は「今年の漢字1文字」を各自が書く取組、2年生はアリーナでの学年レク、3年生は相手に悟られるように(ばれるくらいに)思いやり行動をとる「バレンジェル」の取組のまとめでした。どの場面も生き生きと生徒たちが取り組んでおり、微笑ましい姿でした。



2年生のレクの様子を参観中です。

協議会では管理職や各主任から、学校の近況や来年度の教育課程案等について説明がありました。委員の皆様からは、生徒たちの学びの状況や学校の取組についてさまざまなご意見をいただきました。

## 【協議会でいただいた主なご感想やご意見】

- ・保護者アンケートについては経年で見ていく必要がある。結果がきれいに出すぎている側面もあるので、一部質問項目を変えてみるのも良いのではないかと。
  - ・学ぶ目的は内的な動機が本筋だが、先生などから褒められることによって伸びる部分というのもある。主体的に学ぶ姿を見ている側がサポートしてあげて、それをどんどん認めてあげることで相乗効果が期待できる。
  - ・保護者アンケート結果(現段階の速報版)の「わからない」という答えがあるのが気になるが、自由意見欄があると本当に言いたいことが見えてくるのではないかと。
- ※学校評価アンケート結果は、2月予定の学校関係者評価委員会での確認ののち、ホームページで公開します。
- ・教育目標の「美しい生活」については、生活全般につながっているのでぜひ続けてもらいたい。
  - ・3年生のバレンジェルの取組は、思いやりを育む取組で六中のよいところであり、「美しい生活」にもつながる。
  - ・学力向上の成果は認められるが、学校の授業だけでの結果なのかはふり返ってもらいたい。
  - ・職場体験の発表などは、一部生徒の発表だけでなく、全体像が分かるものにしてもらいたい。



# 生涯学習講座を行いました

同窓会からは講師の先生をご紹介いただきありがとうございました！

12月14日(土)の土曜授業公開日には、各方面で活躍される身近な地域の先輩方からその考え方や生き方を学ぶ「生涯学習講座」が行われました。講師には、東京大学先端科学技術研究センター 廣井悠 教授をお招きして、これまでのご経験からの生き方・学び方のヒントや、ご専門の都市防災にまつわるさまざまな知識をお話しいただきました。わかりやすいお話に生徒たちは興味深く聞き入り、身近な生活での安全性について考えたり、自身の今後の生き方に結びつけたりして、大変有意義な時間を過ごせました。



【講師の先生】中学生の興味・関心に合わせてお話しいただきました。



【講師の問いに挙手】生徒たちが自分の考えを表明する場面もありました。



【花束贈呈】生徒会役員からお礼のあいさつと花束が贈呈されました。



# ケーキ作り体験と落ち葉掃きボランティア

12月8日(日)には、向丘青少年健全育成会主催の「ケーキ作り体験」が本校追分ホールで行われ、80名以上の小学生が集まるケーキ作りのお手伝いとして10名の六中生が参加しました。生徒たちは準備から片付けまで忙しく働き、また小学生には優しく接し、各々のケーキも作るという楽しい時間となりました。

また12月18日(水)・19日(木)には、生徒会役員会のプロジェクトとして「落ち葉掃きボランティア」が行われました。落ち葉が多く舞い散ると主事さんの仕事も多くなるのですが、六中生が集まれば素早く多くの落ち葉を集め綺麗にしてくれます。黙々とほうきを掃く姿には校長も参加しながら嬉しく思いました。

【12/8 ケーキ作り体験】



【12/18・19 落ち葉掃きボランティア】

↑ 校長作



今年も六中生は、多くの生徒が各方面のボランティア活動で活躍しました。誰かのためになる取組に気持ちよく参加する六中生を誇りに思うと同時に、地域の皆様には生徒たちが活躍する機会を与えていただいたことに感謝いたします。

## 今後の主な予定 (1月末まで)

### 令和6年12月

| 日  | 曜日 | 予定     |
|----|----|--------|
| 25 | 水  | 終業式    |
| 26 | 木  | 冬季休業日始 |
| 27 | 金  | 学校閉庁日  |

### 令和7年1月

| 日  | 曜日 | 予定                    |
|----|----|-----------------------|
| 7  | 火  | 冬季休業日終                |
| 8  | 水  | 始業式 安全指導日<br>職員会議 研修会 |
| 10 | 金  | 生徒委員会                 |
| 14 | 火  | 中央委員会                 |

### 令和7年1月

| 日  | 曜日 | 予定                      |
|----|----|-------------------------|
| 15 | 水  | ⑤カット (区中研一斉部会)          |
| 17 | 金  | 放課後; 英語検定               |
| 18 | 土  | 土曜授業公開⑤<br>百人一首大会 (1・2) |
| 20 | 月  | 生徒朝礼                    |
| 21 | 火  | ①⑤カット (区中研一斉部会)         |
| 23 | 木  | 避難訓練                    |
| 27 | 月  | 全校朝礼                    |
| 31 | 金  | 校外学習(2)<br>伝統工芸体験(1)    |

※現段階の予定ですので、後日配布の月行事予定表を改めてご確認ください。

2024年が終わろうとしておりますが、今年も六中の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございました。新たな年も生徒たちの健やかな成長のために、学校全体で取り組んでまいります。